

令和6年度学校評価 学校関係者評価報告書

茨城県結城看護専門学校

1 評価委員構成

評価委員…9名 内訳：実習施設関係者4名、教育機関3名、卒業生1名、行政機関1名

2 学校の自己評価に対する客観的評価

1) 評価結果

評価基準	評価人数
評価は妥当である	8人(88.9%)
評価は概ね妥当である(少し課題がある)	1人(11.1%)
評価はやや妥当である(課題がやや多めである)	—
評価は妥当とは言えない(課題がかなり多くある)	—

2) 各委員からの意見

- ・推移のレーダーチャート上のグラフが一番小さい円になっていることが気になった。県西地域の人材育成とはいえ、世の中の流れの中で、さまざまな課題に取り組みながら(学生募集との関係性も踏まえて)継続していく困難さを感じた。
- ・教育内容では病院と学校の連携は今後も継続していく必要性を強く感じた。
- ・新人教員に対する支援が手厚く、心強いと感じた。
- ・今の正直な学校の姿が見えてきた評価・結果であると思う。
- ・学校運営自己評価について細部に渡り分析されており妥当と思う。
- ・確実に評価されていると思う。

3) 改善点・期待する点

- ① 学校と臨床の連携の継続
- ② 新人看護教員への手厚い支援の継続

3 重点目標の自己評価に対する客観的評価

1) 評価結果

評価基準	評価人数
評価は妥当である	8人(88.9%)
評価は概ね妥当である(少し課題がある)	1人(11.1%)
評価はやや妥当である(課題がやや多めである)	—
評価は妥当とは言えない(課題がかなり多くある)	—

2) 各委員からの意見

- ・教育の面では、中堅となる方々への支援は病院も学校も同じだと感じる。
- ・資料3には大変丁寧に「重点的に取り組むべき課題と目標」への「取り組み状況と結果」「課題」が記述されているが、重点項目に挙げて対策を講じたことが、「令和6年度学校評価自己評価報告書」の大項目の評価にどのように影響があったかが示されるとよりわかりやすいと感じた。
- ・「Ⅲ 全体を通して」のところに、(例)「重点項目として取り組んだ内容に関連する大項目はすべて±0ポイントであった」等、記載しても良いと感じた。

○重点目標5に対して

- ・ワークバランスでは、職場の人間関係は長く時間がかかると思うが、改善できるよう取り組んでいる姿勢は素晴らしいと感じた。
- ・取り組み状況と結果「職場環境の改善」の中で、「以前より悪くなった」「気軽に声をかけあえない」等が気になったが、今後状況が緩和されていくと思っている。

- ・取り組むべき重点課題を絞り込み、適切に対応されていたと思う。課題にもあるが「職場環境の改善」は継続的な取り組みが重要と思う。(※この組織にも同様の課題がありますが・・・)
- ・職場環境は職員ひとり一人の意識・配慮によって改善されていくため、職員の意識改革をどのようにしていくか、難しい課題ではある。
- ・「教員相互が教育力を高め合う環境・職場風土を構築する」について、前年度と比較して「職場環境がやや悪化した・悪化した」と感じている教員が半数を超えていることが、とても印象に残っている。職場の雰囲気が悪いだけでも、職員の休職・退職につながってしまうと思うため、来年度も重点的な課題として対策を検討してほしいと思う。

3) 改善点・期待する点

- ① 組織としての職場環境の改善（協働意欲の構築・教職員間のコミュニケーションと連携の強化）の継続

4 その他のご意見等

①公開授業や行事等について

- ・保護者への授業参観は良い取り組みだと思う。教職員の熱意と気概を感じる。学生の学修意欲にも良い影響があると思う。ぜひ無理のない範囲で継続していただきたい。
- ・せっかく実施しているのであるから、年間学校行事に記載したほうがよい。

②その他

- ・休学者1名は少ない。もっと多い印象だった。
- ・学生アルバイトは普及しているのか気になった。
- ・教員の質と量の確保（人員）で大変苦慮されているのがよくわかった。
- ・実習での協力はできるだけおこなっていくので、お声がけください。
- ・働きやすさ・人間関係が良くなると、忙しさもやりがいにつながると思う。
- ・資料3は文字を拡大して、A3綴じ込みのほうがより見やすいと感じた。
- ・教職員の教育力と組織力の向上に取り組む姿勢は、大変すばらしいと感じた。
- ・学生のことを大切に教育していると思う。学校運営は適正かつ効率的におこなわれている。

以上